

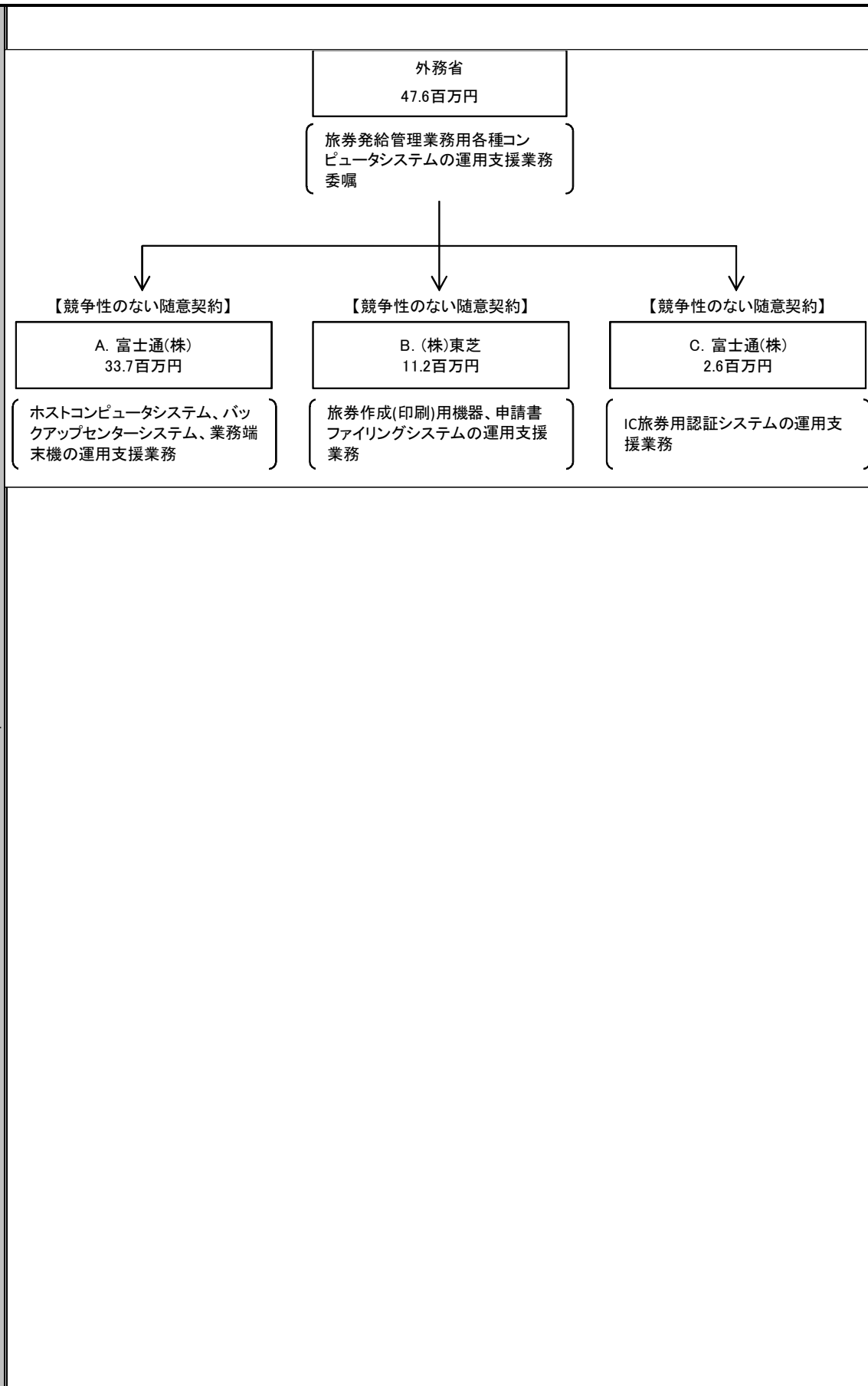
平成23年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	旅券発給システム運用支援経費	担当部局庁	領事局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度		担当課室	旅券課	課長 清水 洋樹				
会計区分	一般会計	施策名	IV-1 領事サービスの充実					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第12項 外務省組織令第13条第9項 旅券法	関係する計画、 通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	旅券発給管理業務を行うための各種システムにおける運用上の技術支援を得ることにより、システムの安定的な運用を維持する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	旅券発給管理業務を行うための各種コンピュータシステム(ホストコンピュータシステム、バックアップセンターシステム、IC旅券用認証システム及び各都道府県旅券事務所における旅券交付管理等の業務を行う業務端末機、旅券作成(印刷)用の機器、申請書ファイリングシステム)の各都道府県旅券事務所・在外公館からの照会等に対する対応(年間約4,000件)、データの補正、障害発生時の緊急対応、日常的なシステム稼働状況の監視等を行う技術支援要員を確保し、システムの安定的な運用を行っている。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	82	80	47	45	45	
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-			
		計	82	80	47	45	45	
	執行額		82	61	48			
	執行率(%)		100.0%	76.3%	101.1%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	旅券は申請に基づき発給されており、その発給数は国民の申請需要に対応していることから、政策的な定量的成果目標の設定には馴染まない。なお、IC旅券の発給は、毎年1,500万人超の海外渡航者の円滑な出入国に資するものとする。右欄は暦年の海外渡航者数。		成果実績	万人	1,598.7	1,544.6	1,663.7	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国内及び在外におけるIC旅券発給数。		活動実績 (当初見込み)	冊	4,001,789	4,139,406	4,170,762 (4,087,000)	— (4,185,881)
単位当たり コスト	(11円/冊)		算出根拠	22年度執行額(47,602千円)÷22年度IC旅券発給数(4,170,762冊) 【参考】IC旅券関連予算全体(事業番号:62・610・612・614・626・628・629・634・636・653・666・673)で見た場合の単位当たりコストは2,400円 (=22年度執行額(10,008,147千円)÷22年度IC旅券発給数(4,170,762冊))				
平成23 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	人件費	44,977	44,977					
	計	44,977	44,977					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	今後システムの刷新又は現行機器の入替等を行う際には、現行機器導入時と同様競争性のある調達方式により導入業者を決定する等、更に効率的な運用を目指す。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り			
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)	
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.富士通(株)			E..		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	ホストコンピュータシステム、バックアップセンターシステム、業務端末機の運用支援要員経費	33.7			
	計		33.7	計		0
	B.(株)東芝			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	旅券作成(印刷)用機器、申請書ファイリングシステムの運用支援要員経費	11.2			
	計		11.2	計		0
	C.富士通(株)			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	IC旅券用認証システムの運用支援要員経費	2.6			
	計		2.6	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0.0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通(株)	ホストコンピュータシステム、バックアップセンターシステム、業務端末機の運用支援 要員経費	33.7	随意契約	—
2	(株)東芝	旅券作成(印刷)用機器、申請書ファイリングシステムの運用支援要員経費	11.2	随意契約	—
3	富士通(株)	IC旅券用認証システムの運用支援要員経費	2.6	随意契約	—
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					